

平成30年度

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行
の状況についての点検及び評価に関する報告書

阿波市教育委員会

令和元年9月2日提出

目次

第1章 はじめに

1	教育委員会の事務に関する点検・評価について	1
2	点検・評価の対象事業	1
3	評価の方法	1

第2章 平成30年度教育委員会活動報告

1	教育委員会の組織	2
2	教育委員会会議開催状況	2
3	その他の活動	3

第3章 教育委員会の所掌に係る事務事業報告

1	教育総務課	4
2	学校教育課	4
3	学校給食センター	5
4	社会教育課	6
5	公民館	7

第4章 事務事業の点検・評価結果

1	学校教育	9
2	生涯学習	36
3	スポーツ振興	47
4	芸術・文化振興	55
5	青少年健全育成	63
6	人権教育	76
7	国際交流	79

第5章 学識経験者の所見

1	学識経験者の所見	83
---	----------	----

資料編

第1章 はじめに

1 教育委員会の事務に関する点検・評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することとされました。また、点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する方の知見の活用を図るものとなっています。

本報告書は、点検及び評価にあたり、平成28年度に策定した「阿波市第1次教育振興計画（後期計画）」の目標及び基本方針を反映したものになるよう作成しました。

2 点検・評価の対象事業

平成30年度の教育委員会会議の開催状況や教育委員会の所掌に係る事務事業について、点検を行いました。評価については、「阿波市第1次教育振興計画（後期計画）」で策定した「5年間の主要事業」全73事業を対象事業としました。

3 評価の方法

「阿波市第1次教育振興計画」で策定した「5年間の主要事業」について、事業ごとに評価シートを作成し、次のような観点に基づき評価を行いました。

①事業の評価（4項目・4段階）

- ・必要性 : 市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか。
- ・有効性 : 施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。
- ・経済・効率性 : 事務効率化・コスト縮減しているか。
- ・目標達成度 : 計画どおりに目標を達成できたか。

②総合評価（4段階）

- A 優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている。
- B 優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている。
- C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い。
- D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要。

③事業の方向性（5段階）

- ・さらに重点化する。
- ・現状のまま継続する。
- ・見直しのうえ継続する。
- ・事業の縮小を検討する。
- ・休止・廃止を検討する。

なお、今回の点検及び評価にあたり、学識経験者の知見の活用として、曾川京子氏、三橋泰氏に所見をいただきました。

第2章 平成30年度教育委員会活動報告

1 教育委員会の組織

氏名	平成31年3月31日現在の役職	異動状況
坂東 英司	教育長	
大戸井 美生	教育長職務代理者	
重清 由充	教育委員	
森 勝正	教育委員	平成30年7月1日委員就任
庄野 憲二	教育委員	
西淵 利江	教育委員	

2 教育委員会会議開催状況

	開催日	議案	協議事項	承認事項	報告事項	計
第1回定例会	平成30年4月26日	3	0	3	2	8
第2回定例会	平成30年5月25日	2	1	1	2	6
第3回定例会	平成30年6月28日	3	0	2	2	7
第4回定例会	平成30年7月26日	1	0	2	2	5
第5回定例会	平成30年8月28日	2	0	2	2	6
第6回定例会	平成30年9月28日	2	0	1	3	6
第7回定例会	平成30年10月24日	1	0	1	2	4
第8回定例会	平成30年11月26日	5	0	2	2	9
第9回定例会	平成30年12月26日	2	0	1	2	5
第10回定例会	平成31年1月28日	0	0	1	2	3
第11回定例会	平成31年2月21日	7	0	3	2	12
第1回臨時会	平成31年3月8日	0	0	1		1
第12回定例会	平成31年3月18日	1	0	1	2	4
計		29	1	21	25	76

3 その他の活動

(1) 委員研修会等への参加

① 県・市町村教育委員会教育行政連絡協議会

主 催 徳島県教育委員会
開催日 平成30年4月4日
場 所 県立総合教育センター
内 容 ・平成30年度教育重点施策説明
・県教委各課等施策説明 等

② 第66回定期総会並びに研修大会

主 催 徳島県市町村教育委員会連合会
徳島県市町村教育長会
開催日 平成30年4月25日
場 所 徳島市役所
内 容 ・教育功労表彰
・研修講演会 等

③ 県・市町村教育委員会教育委員等研修会

主 催 徳島県教育委員会
開催日 平成30年11月5日
場 所 県立総合教育センター
内 容 ・県内市町村事例発表
・研修講演会 等

(2) 学校訪問

開催日 平成30年6月5日～6月26日
場 所 市内全幼稚園・小学校・中学校
内 容 ・授業、施設の視察
・学校長等との意見交換会 等

(3) 総合教育会議

開催日 平成30年10月12日
場 所 阿波市役所
内 容 ・不登校児童・生徒の現状と対策について
・事務事業の点検・評価結果について

(4) 学校教育賞表彰

内 容 優れた成績をあげた阿波市内の幼児・児童・生徒を表彰
個人表彰：52人 団体表彰：8団体（64人）

第3章 教育委員会の所掌に係る事務事業報告

() 内は事業費

1 教育総務課

- (1) 平成29年度繰越 学校施設環境改善交付金事業
- ・吉野中学校校舎大規模改修その他工事 (246,466千円)
監理業務 : 3,920千円 改修その他工事 : 242,546千円
- (2) 平成30年度 市単独事業
- ・阿波中学校屋内運動場排煙オペレーター改修工事 (2,846千円)
設計業務 : 200千円 改修工事 : 2,646千円
 - ・一条小学校校舎大規模改修その他工事 (5,071千円)
設計業務 : 5,071千円
 - ・八幡小学校屋内運動場大規模改修工事 (2,592千円)
設計業務 : 2,592千円
 - ・久勝小学校屋外運動場夜間照明改築その他工事 (1,620千円)
設計業務 : 1,620千円
 - ・市内幼稚園園舎解体その他工事 (40,707千円)
大俣幼稚園 設計業務 : 756千円
久勝幼稚園 その他工事 : 11,491千円 監理業務 : 335千円
伊沢幼稚園 その他工事 : 12,277千円 監理業務 : 367千円
林幼稚園 その他工事 : 15,077千円 監理業務 : 404千円

2 学校教育課

(1) 外国青年招致事業(22,009千円)

外国語指導助手(ALT)4人を市内の各中学校に配置し、授業の補助、教師の補助教材の作成、小学校の英語活動の推進、地域住民の英語講座の指導等、国際理解教育の推進を図っている。

(2) 小学校英語活動事業(15,153千円)

英語活動を通じて、外国の言語や文化に慣れ親しみ、聞くことや話すことなどで、実践的なコミュニケーション能力の基礎を養っている。6人の日本人英語指導講師を全小学校に配置し、全学年で英語活動を実施した。

(3) 適応指導事業(2,949千円)

不登校やひきこもり等の学校に行きにくい児童生徒に対して、情緒の安定、基本的な生活習慣の改善、集団生活への適応、基礎学力の補充等を行い、学校への復帰を目指すとともに、社会的に自立する力を養っている。30年度は、12名の生徒が通級した。

(4) 学校給食地産地消の推進 (0千円)

学校給食における地産地消を推進し、年間を通して阿波市内の新鮮な農産物を子ども達に提供できるよう、食材の安定供給体制を構築している。JA・農業振興課・給食センター・学校教育課で「地産地消」推進に向けて協議している。

(5) 学力向上推進講師派遣事業 (27,765千円)

市内小中学校において、学習指導支援ができる講師や経験豊かな退職教員が、児童生徒の学力向上のために、学習支援を行っている。

(6) 学校教育ICT活用事業 (35,640千円)

全小中学校にタブレット型パソコンを整備し、ICT機器を活用した授業づくりや「楽しくて、よくわかる授業」の実践に取り組んでいる。時代にあった情報活用能力を身につけるとともに、児童生徒の興味と関心を高め、学力向上につなげている。

(7) 奨学金貸与事業(4,248千円)

教育の機会均等に資することを目的に、学校教育法に基づく高等学校、特別支援学校高等部、高等専門学校及び大学に在学し、経済的な理由のため修学が困難な方を対象に奨学金を貸与している。30年度は、17名に貸与した。

(8) 奨学金等返還支援事業(1,753千円)

阿波市在住の就労者で、29年度以降に返還を開始した方に、返還額の3分の2(上限10万円)を5年間助成する。なお専業農家の方は、申請年度の返還額(上限20万円)を助成する。30年度は、22名に助成した。

3 学校給食センター

学校給食衛生管理基準に基づき、安全・安心でおいしい給食を児童生徒に提供するとともに、食育への取組を推進している。

給食センター管理費 (293,637千円)

(1) 30年度 給食配食数 (582,129食)

(2) 30年度 給食費 (147,393千円)

1食あたり	幼稚園・認定こども園・小学校	247円
1食あたり	中学校	268円

(3) 30年度 食育活動

給食の時間校内放送用原稿の作成、給食だよりの発行

夏休み親子給食センター探検隊を実施

給食センターの見学会・試食会を学校や市民を対象に実施

各学校・園における保護者対象の給食試食会

(4) 30年度 地産地消の取り組み

「阿波市学校給食地産地消推進計画」に基づき、学校給食農産物供給協議会と連携し、安全安心な地場農産物の継続的使用に取り組みました。

- ・「Awa産Our消Myメニュー」コンクールを実施 市内小中学生から518点の応募があり、うち入選作品を、学校給食献立として提供。アエルワ食堂でも小中学生が考えた地産地消献立メニューとして提供した。
- ・1/25「Awa産Our消」の日(阿波市産農産物を多く活用した献立)の実施
- ・吉野川高等学校と連携し、阿波市土成農場で高校生が栽培したカブを献立に取り込み地産地消とともに食育推進を図った。

4 社会教育課

(1) 阿波スポーツ育成事業

- ①阿波市ジュニア駅伝 (207千円)
平成30年12月2日実施 参加：男子18チーム・女子4チーム・低学年6チーム計193名
- ②阿波シティマラソン (10,862千円)
平成31年3月3日実施 ゲストランナー：谷川真理・大塚製薬陸上部・元富士通陸上部柏原竜二 参加者：970名
- ③徳島駅伝 (4,800千円)
徳島駅伝阿波市候補選手練習会を9月より実施し、徳島駅伝に参加している。
- ④総合型地域スポーツクラブ活動補助事業 (1,400千円)
スポーツクラブへの助成。地域コミュニティの核として、スポーツ及び文化的活動を通じて、地域住民の健康づくり・地域社会の活性化・青少年の健全育成のため、各種スポーツ教室を開催している。

(2) 学力向上支援事業 (911千円)

学力向上支援事業を3か所で実施している。参加者：延べ2,685名

(3) 文化振興事業

- ①文化振興事業 (1,670千円)
文化振興のため、阿波市文化協会等に助成を行っている。
- ②生涯学習事業(各種講座等) (1,800千円)
生涯学習講演会,生涯学習映画会,各種講座等を開催している。
開催回数：108回 参加者：延べ3,608名
- ③市内図書館4館指定管理委託(年間) (84,836千円)

(4) 社会教育関係事業 (1,583千円)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| ①成人式 | 平成31年1月2日開催 | 参加者：324名 |
| ②ALTによる英会話教室 | 開催数：129回 | 受講者：58名 |
| ③親子映画会 | 平成30年8月11日開催 | 参加者：199名 |
| ④親子ふれあい木工教室 | 平成30年8月5日開催 | 受講者：68名(児童数) |

(5) 人権教育活動事業 (4,446千円)

- | | | |
|-------------------------|---------|----------|
| ①人権教育啓発のための各種研究大会・研修会 | 開催数：13回 | 参加者：205人 |
| ②人権啓発を進めるための事業 | | |
| ◎阿波市人権ふれあいフェスティバル 11/11 | | 参加者：350人 |
| ◎心のリフォーム学級 4地区 | 開催数：15回 | 参加者：313人 |
| ◎講演会 1/19 | 開催数：1回 | 参加者：600人 |

(6) 文化財保護事業

文化財維持管理事業 (4,087千円)

◎指定史跡天然記念物維持管理事業 (阿波の土柱・土成丸山古墳・北岡東古墳・秋月歴史公園・野神の大センダン・尾開のくろがねもち等)

◎市指定文化財補助事業 (浦之池・椎ヶ丸古墳・御所神社獅子舞・案内神社獅子舞熊谷寺仁王門 (山門) 両受け瓦他修繕補助)

(7) 青少年健全育成事業 (1,300千円)

◎青少年健全育成講演会 開催数：1回 参加者：270名

◎阿南橋火力発電所・徳島地方裁判所見学 開催数：1回 参加者：43名

(8) 社会教育施設整備事業

◎土成図書館・公民館整備事業

工事費 : 43,858千円

◎伊沢公民館2階大会議室エアコン購入

備品購入 : 2,031千円

◎久勝公民館ブロック塀改修工事

工事費 : 1,409千円

5 公民館

(1) 公民館主催事業 (22事業)

地域住民の生涯学習の拠点として、各公民館で多種多様な講座を実施している。

(2) 各種団体の育成 (126団体)

地域住民が自主的に行う生涯学習活動を支援するため、公民館を定期的に利用する団体に無償での貸館を行っている。

(3) 勤労青少年ホーム教室・クラブ活動事業 (200千円)

バレーボール、バドミントン、硬式テニス、卓球、フットサル等ほか

延べ1,548名参加